

指定管理業務 事業評価書

令和元年度 指定管理者業務 事業評価表

施設名	那須烏山市立南那須図書館・烏山図書館
施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	大高商事・シダックス大新東ヒューマンサービス・藤井産業共同体 代表者 株式会社 大高商事 代表取締役 高橋 和夫
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日 (5年間)

確認項目	評価基準	自己評価	所管評価
I 履行の確認			
1 施設全般の管理運営に関する業務		A	A
(1)職員配置	適切な人員配置がされたか	A	A
(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	A	B
(3)利用促進業務	利用拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	A
2 利用者に関する業務		A	B
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適切な水準であるか	A	B
(2)利用料金	利用料金の設定・徴収・手続きは適切であるか	A	B
3 保守点検業務		A	B
(1)保守点検業務	保守点検が適切に行われたか	A	B
(2)清掃業務・維持管理業務	清掃業務・維持管理が適切に行われたか	A	B
(3)保安・警備業務	保安・警備業務が適切に行われたか	A	B
(4)修繕業務	修繕業務が適切に行われたか	A	A
4事業の実施に関する業務		A	A
(1)指定業務	事業が適切に行われたか	A	B
(2)自主事業	施設の目的に沿った自主事業が適切に行われたか	A	A
(3)事業報告	報告の提出は、期日が守られているか	A	A
5 個人情報の取扱	個人情報の取扱が適正に行われたか	A	A
6 設置目的の達成度(管理目標)	設定目標に対する結果は妥当であるか	A	A
II サービスの質の評価		A	B
1 利用者満足度	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当であるか	A	A
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	A	B
3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	A	B
4 指定・自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	A	B
III サービスの安定性の評価		A	B
1 事業収支	事業収支は妥当であるか	A	B
2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は、妥当であるか	A	B
3 団体等の経営状況	団体の経営状況分析指標の結果は、妥当であるか	A	B
総合評価		A	B
その他特記事項(成果・改善等)			
1 指定管理者	指定管理2期目の3年目として、さらに今までの事業の継続と展開を心がけ、実施しました。令和元年度は、自然災害時の対応や新型コロナウイルス感染拡大予防のための対応等、生涯学習課との話し合いが頻繁に実施され、スムーズな図書館運営をすることができました。		
2 施設所管課	年度当初の予算書において、指定管理料の10月からの増税分が計上漏れであったため、また、年度末のLED化の実施ができず結果的に指定管理料の残額が生じた。しかし、令和2年度の実施が予定されており適正な指定管理料の支出が見込まれる。		
総合評価の理由	令和元年度東日本台風、新型コロナウイルス感染症などの影響により、通常よりも利用者や貸出冊数が減少している。そんな状況下においても、協定書どおりの事業を実施し、市民のニーズを把握し、新しい事業にもいくつか取り組んでいる。3月からの新型コロナウイルス感染拡大防止対策については、指定管理者職員が一丸となり日々の安全対策業務に当たっているが、今後より良い図書館運営業務を行う方策を検討されたい。このようなことから、総合的に判断し、おおむね協定書の水準どおりであると考えられることからBと評価をした。		

※ 施設の特性等に応じて確認項目を追加・修正して使用すること。